

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2013年度

卒業論文題目	指導教員
国際芸術祭における地域活性の可能性－あいちトリエンナーレにみる、接着剤としてのアートの役割－	別所良美
新しいつながりのカタチ－甘えからシェアへ－	野村直樹
国際化における在日外国人児童生徒の教育をめぐる－岐阜県美濃加茂市の事例を中心に－	やまだあつし
コスプレ・コミュニケーションの背景－コスプレという「自己との向き合い方」－	小林かおり
ベートーヴェン『交響曲第9番』を読む－「歓喜に寄せて」の政治的受容－	土屋勝彦
心のふるさと、ウリハッキョー胸を張って生きるために－	日木（赤嶺）
エビ食生活誌－エビを買って食べて、考える－	日木（赤嶺）
衣服のさきの、人をおもう－「消費する」衣服から「こだわる」衣服へ－	日木（赤嶺）
『通訳/インタープリター』に見るコリア系アメリカ人1. 5世 －多文化社会における帰属意識の「揺らぎ」を考察する	田中敬子
フィンランド語の吸気相槌分析－話者が気付かず活用する「息を吸う相槌」の多機能性－	佐野直子
なぜユニオンジャックは愛され続けるのか	小林かおり
毒抜きされたシェークスピア－『ヴェニスの商人』の翻案の歴史－	小林かおり
ローカルに働きグローバルを目指す～学習理論で読み解くフィリピン就職～	野村直樹
絵本という存在－モーリス・センダック、エリック・カールから考える絵本のこれから－	田中敬子
アメリカにおける白雪姫像	田中敬子
学生が路上生活者と向き合った時の当事者研究～路上生活ガイドブックの作成に向けたフィールドワークの経験から～	野村直樹
『チート』(The Cheat)でなぜ日本人が悪役であるのか－あるハリウッド映画にみる日本の姿－	田中敬子
江戸時代に学ぶ「持続可能な開発」～現代における「循環型社会」成立への課題～	別所良美
野心の記号化－岡崎市のキャラクター、オカザえもんを例に－	野村直樹
「美」に縛られる現代女性たち	小林かおり
韓国における反日の構造	やまだあつし
パンに関わる現代日本語語彙の研究	成田徹男
自由とはなにか～『ティファニーで朝食を』～	田中敬子
スフラワルディの聖者	寺田元一
ぬくもりのある農業－付加価値と物語をコンテクストをデザインする－	野村直樹
メディチ家による市民支配の考察－フィレンツェの政治制度と市民生活－	松本佐保
ヒトラーの光と影 ヒトラーという人間	土屋勝彦
グリム童話の女性像	土屋勝彦
心霊スポット化する聖地－沖縄の御嶽をめぐる信仰の変容と課題－	阪井芳貴
西ドイツと日本の新左翼運動の比較－新左翼運動から見る社会－	松本佐保
「男が演じ、女が観る文化」－日英オールメイル演劇の比較－	小林かおり
日韓教科書問題の史的展開－2001年教科書問題の発生と解決の模索が現在に問いかけるもの－	平田雅己
アメリカにおける1996年福祉改革の移民への影響	山本明代
ナショナリズムとヨーロッパ統合	別所良美
シャーロック・ホームズ新たな挨拶 シドニーパジェットの結詞	土屋勝彦
アメリカ国内のイラク戦争報道に関する－考察－報道の影響とメディアの課題－	平田雅己
ドイツから学ぶ異文化共生の公教育－日系ブラジル人と在独トルコ人の日独比較から－	土屋勝彦
年官制度再考－年官のもつ複数の性格について－	吉田一彦
アメリカにおける「公正な裁判」とは何か－陪審選出における無条件忌避権に焦点を当てて－	山本明代
アメリカにおける子どもの肥満と学校給食の関係	山本明代
プロパガンダとしてのイギリス王室の変遷	松本佐保
つくられた「華人像」とその実像－インドネシアのスハルト政権期に焦点をあてて－	山本明代
チャイナドレスとモダンガール	やまだあつし
聴覚障害学生がつくる手話コミュニティ－全日本ろう学生懇談会から見えるろう者像－	佐野直子
コスタリカはなぜ平和外交が展開できたのか－中米紛争時アリアス政権期の分析を中心に－	平田雅己
レッテルを貼られる女たち	小林かおり
アメリカにおける異人種間結婚禁止法	山本明代
東峰夫『オキナワの少年』に描かれるコザ－米軍占領と基地の町－	阪井芳貴
東ドイツのイメージと実像	土屋勝彦
ご都合主義の動物観～家畜からコンパニオンアニマルへの変遷～	小林かおり
おかあさんはなぜぼくをころしたか グリム童話「柏楨の話」における加入札と人身御供	土屋勝彦
ナショナリズムの正当性と功罪	別所良美
ミクロネシアの独立はなぜ遅れたか－外国支配に対する抵抗運動と経済的従属－	平田雅己

卒業論文題目	指導教員
髪が語る時代－モダンガールとヒッピー	小林かおり
「ニホン」「ニッポン」研究－国名「日本」の現代における使用意識－	佐野直子
国際協力NPOが行う「自立支援」－事例研究とNPO2団体へのインタビューを踏まえて－	平田雅己